

第 106 回監視・評価検討会 本日の確認事項

原子力規制庁

議題1. 中期的リスクの低減目標マップの改定

- ・ なし

議題2. 1号機RCWの水素滞留事象等を踏まえた対応について

- ・ 水素爆発の影響評価について、時間をかけずに進めるとともに、これまでの検討に基づきNDFからも知見を提供してほしい(原子力規制庁)
- ・ 他にも高濃度の水が溜まっている箇所の特定を進めるとともに、本件は先行例として、作業安全や分析、水の取扱いについて検討を進めること(山本委員、田中知規制委員、原子力規制庁)
- ・ 水素対策について、地元の不安を理解し、対応・説明をお願いしたい【対東京電力、対原子力規制庁】(蜂須賀委員)

議題3. PCV閉じ込め機能の維持に係る検討について

- ・ 現場条件、バウンダリの設定、雰囲気管理をセットで検討すべき(井口委員)
- ・ 深層防護の観点から、放出防止・漏えい検知・影響緩和を考えると、漏えいを検知した際に負圧に移行するという考え方もあるのではないか(山本委員)

議題4. ALPS処理水の海洋放出に関連する審査・検査等の状況について

- ・ 測定・確認用タンク群間の隔離弁におけるシートパスが疑われる事象の発生に関して、原因等及び水平展開の検討結果、今後の対応について報告すること(蜂須賀委員、原子力規制庁)

議題5. スラリー脱水設備の検討状況について

- ・ HICの保管容量ひっ迫リスクを考慮し、HICの一時的でない保管場所の検討に対する考えを示すこと(原子力規制庁)
- ・ 設計条件、耐震クラスの設定、閉じ込め機能等について、1F技術会合で議論するために必要な情報を早急に用意すること(原子力規制庁)
- ・ 2023年度に成立性を見極めるためのホールドポイントを網羅して明確に示すこと(原子力規制庁)
- ・ 今後技術的議論を進めるにあたって、東京電力と原子力規制庁との間で認識が共有されていることを確認して進めること【対原子力規制庁、東京電力】(山本委員)

議題6. 過去の指摘事項への対応状況

なし

議題7. その他

なし

・ 本資料は、検討会において認識共有した内容をもとに作成し、ホームページに掲載しています。
なお、会議の進行と同時並行で作成しているため、正確な表現ではない部分があります。